



薬剤管理指導記録は電子カルテ上で閲覧可能です

薬剤師が薬剤管理指導（服薬指導）を行っている病棟において、2012年4月から、薬剤管理指導記録を電子カルテ上にエクチャートの様式で掲載しています。処方薬・持参薬の適正使用、患者の薬剤に関する問題点、有害な自覚症状等の情報を記載しています。ご参照の上、診療にご活用下さい。

書式記載ツール(エクチャート)による薬剤管理指導記録

【薬剤管理指導記録】
2012/04/28(土) 16:06
01病棟: 2012/04/28(土) 1614 薬剤師: [redacted]
作成: 2012/04/28(土) 1614 作成者: 薬剤師 [redacted]

薬剤管理指導記録
患者ID [redacted]
氏名 [redacted]
性別 [redacted]
年齢 [redacted]
身長 [redacted]
体重 [redacted]
指導日 2012/04/27

薬剤管理指導チェックシート
1. 薬の適正使用をチェック
処方薬
資料
2. 患者面談で薬に関する問題の有無をチェック
資料
3. 患者(家族)から聴取
資料
4. 患者の薬剤に関する問題点をチェック
薬剤師の
薬剤師の
内容

副作用シグナルチェックシート
副作用シグナル確認シート

AST 11
ALT 11
ALP 21
Bil 20
γ-GTP 51
LDH 27
Cr 10
BUN 26
Na 14
K 3
WBC 10230(10⁶/L)
RBC 237(10¹⁰/L)
Plt 17.7(10⁹/L)
Hb 8.4(g/dl)
Hct 18.0(L)
CRP 0.66(mg/dl)
Ab 12.4(g/dl)
尿酸 17.7(mg/dl)
KL-6 770(CU/ml)
SP-D 95.9
同診室
記載者 [redacted]
記載日 2012/04/28

「副作用シグナル確認シート」で有害な自覚症状の有無をチェック

処方薬・持参薬の適正使用をチェック

患者の薬剤に関する問題点をチェック

処置薬発注締め切り時間変更のお知らせ

この度、卸への発注・納品等の関係により、7月より以下のように発注の締め切り時間の変更を行いたいと思います。

【締め切り時間】

(変更前) **毎週火曜日・金曜日の 10 時まで** → (変更後: 7月より) **毎週月曜日・木曜日の 17 時まで**

なお、払い出し日の変更は行いませんので今まで通り **月曜日締めものは木曜日、木曜日締めものは月曜日に払い出し**となります。ご迷惑お掛け致しますが、ご協力よろしく申し上げます。

新規採用常備医薬品等のお知らせ

平成 24 年 5 月 30 日に開催された薬事委員会において、新規常備医薬品 15 品目、剤形・規格追加医薬品 4 品目、切り替え医薬品 4 品目、削除医薬品 10 品目、削除消毒薬 5 品目が承認されました。詳細につきましては、紙面末に医薬品集の追補版とともに掲載しています。

長期実務実習が始まりました

5月14日(月)から7月27日(金)まで、薬学部5年生を対象とした長期実務実習(男性3名、女性1名)を行っています。医療の担い手として社会に貢献できる薬剤師を目指して頑張っています。服薬指導等で病棟を訪れる機会もありますので、その節はよろしくお願ひします。

退院処方前もってオーダできます

退院時処方薬を、退院当日に処方されるケースが多く、電話対応、調剤等に時間がかかり、患者さんをお待たせする場合があります。退院日が決まっている場合、前もってのオーダが可能ですのでご利用下さい(前日の処方日でオーダ→前日に薬剤を送付)。

PMDAからの医薬品適正使用のお願い No.9

★医薬品による重篤な皮膚障害の早期発見について

医薬品の投与により、重篤な皮膚障害が発生することがあります。特に皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、中毒性表皮壊死融解症は、直近2年半においては1年当たり約600例が報告されています。また、うち約1割が後遺症又は死亡の転帰をたどっており、早期発見・早期対応が重要な副作用です。

◎患者さんに重篤な皮膚障害について説明してください

- ・重篤な皮膚障害などの副作用が出る可能性があること

◎発疹に加え下記の初期症状が認められた場合は、重篤な皮膚障害の可能性も考慮してください

<初期症状>発熱(38℃以上)、眼の充血、眼分泌物、臉の腫れ、目が開けづらい、口唇・陰部のびらん、咽頭痛 等

◎早い段階での皮膚科専門医への相談及び紹介が重要です

- ・急速な発疹の拡大や症状の遷延化を認めた場合には、早急に皮膚科専門医に相談、紹介してください。

<報告数の多い医薬品(直近2年半の報告)>

薬効分類別：抗てんかん剤、解熱鎮痛消炎剤、抗生物質製剤、痛風治療剤、腫瘍用薬、総合感冒剤、合成抗菌剤等

成分別：アロプリノール、ラモトリギン、カルバマゼピン、アセトアミノフェン、ロキソプロフェンNa水和物、メシル酸ガレノキサシン水和物等

「禁忌」、「効能・効果」、「用法・用量」改訂のお知らせ

★ラジレス錠 150mg(一般名:アリスキレンフマル酸塩) <直接的レニン阻害剤>

【禁忌】アンジオテンシン変換酵素阻害剤又はアンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤を投与中の糖尿病患者(ただし、アンジオテンシン変換酵素阻害剤又はアンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤投与を含む他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く)

★レバチオ錠 20mg(一般名:シルデナフィルクエン酸塩) <ホスホジエステラーゼ5阻害剤>

【禁忌】テラプレビル

★サレドカプセル 100mg(一般名:サリドマイド) <抗多発性骨髄腫剤、抗らい性結節性紅斑剤>

【効能・効果】らい性結節性紅斑

【用法・用量】1日1回就寝前。50~100mgより投与開始、適宜漸増。1日400mgを超えないこと。

★インデラル錠 10mg(一般名:プロプラノロール塩酸塩) <高血圧・狭心症・不整脈治療剤>

【用法・用量】<期外収縮(上室性、心室性)、発作性頻拍の予防、頻拍性心房細動(徐脈効果)、洞性頻脈、新鮮心房細動、発作性心房細動の予防に使用する場合>

【小児】1日0.5~2mg/kgを、1日3~4回に分割経口投与。適宜増減。1日4mg/kgまで増量できるが、1日90mgを超えない。

★ナゾネックス点鼻液 50 μ g56 噴霧用(一般名:モメタゾンフランカルボン酸エステル水和物)

＜アレルギー性鼻炎治療剤＞

【用法・用量】＜小児＞[12歳未満の小児]各鼻腔に1噴霧ずつ1日1回。
[12歳以上の小児]各鼻腔に2噴霧ずつ1日1回。

★ビクシリン注射用 0.25g, 1g(一般名:アンピシリンナトリウム)＜ペニシリン系抗生物質製剤＞

【効能・効果】＜適応菌種＞リステリア・モノサイトゲネス

【用法・用量】[小児]1日100～200mg/kgを3～4回に分けて静注又は点滴静注。適宜増量。
1日400mg/kgまで。

[新生児]1日50～200mg/kgを2～4回に分けて静注又は点滴静注。

★フィニバックス点滴静注用 0.5g(一般名:ドリペネム水和物)＜カルバペネム系抗生物質製剤＞

【効能・効果】化膿性髄膜炎

【用法・用量】[小児]1回20mg/kgを1日3回、30分かけて点滴静注。適宜増減。重症・難治性感染症には1回40mg/kgまで。上限:1回1.0gまで。

販売中止のお知らせ

★マンニゲン注 20% 200ml(一般名:D-マンニトール)＜脳圧降下剤＞

在庫限りで代替薬へ切り換える予定です。

代替薬:20% マンニトール注射液「YD」 300ml

使用期限変更のお知らせ

★トリプタノール錠 10mg(一般名:アミトリプチリン塩酸塩)＜三環系抗うつ剤＞

【使用期限】(変更前)5年→(変更後)3年

★カルセド注射用 20mg,50mg(一般名:アムルピシン塩酸塩)＜抗悪性腫瘍性抗生物質＞(緊急購入医薬品)

【使用期限】(変更前)2年→(変更後)3年

包装変更等のお知らせ

★エルカルチン錠 100mg (一般名:レボカルニチン塩化物)＜カルニチン補充剤＞



	従来品			変更品	
	表	裏	→	表	裏
シートデザインの変更					

★エルネオパ1、2号輸液(1000ml)＜高カロリー輸液＞

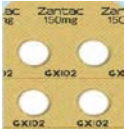



バッグフィルムを若干柔らかくしてフィルム強度を増強

	従来品			変更品	
	1号	2号	→	1号	2号
バッグ表示変更					
				液目盛り調整 拡大	液目盛り調整 拡大





★ザイボックス注射液 600mg（一般名：リネゾリド）＜抗菌剤＞

	従来品		変更品
ポート部分の形状・色の変更		→	 投与の際は青色ポートを使ってください。白色ポートは使用しないでください。

★ザンタック錠 150mg（一般名：ラニチジン塩酸塩）＜H₂受容体拮抗剤＞

	従来品		変更品
P T P シートの変更	表  裏 	→	表  裏 

★シグマート錠 2.5mg、5mg（一般名：ニコランジル）＜狭心症治療剤＞

	従来品			変更品	
	2.5mg	5mg		2.5mg	5mg
シートデザインの変更			→		

★プロナック点眼液 0.1%（一般名：ブロムフェナクナトリウム水和物）＜非ステロイド性抗炎症剤＞

	従来品		変更品
形状・デザインの変更		→	

「タキソテール点滴静注用」の取り扱いについて

★タキソテール点滴静注用 20mg、80mg（一般名：ドセタキセル水和物）＜タキソイド系抗悪性腫瘍剤＞

（緊急購入医薬品）

調製時、プラスチック製のフリップオフキャップ（一般名等の記載された上蓋）を外す際にアルミキャップと一緒に取れる、またはアルミキャップとゴム栓も一緒に取れてしまうという事象が確認されました。フリップオフキャップを外す際には、アルミキャップと一緒に持ち上がらないようにご留意ください。なお、この事象は、80mg 製剤で報告されています。

削除薬のお知らせ

下記薬剤オーダ中止。

オーダ中止日	商品名	理由
3/26	ブレオ注射用 30 mg	販売中止のため
3/28	インプロメン錠 6 mg	在庫がなくなったため(2010年1月薬事委員会より)
4/10	リカルボン錠 1 mg	リカルボン錠 50 mg 採用のため
6/4	ブロアクト静注用 1 g	在庫がなくなったため(安定供給の継続が困難のため)

ラコールNF400mL バッグ使用時の裏面目盛りについて

★ラコール NF 配合経腸用液 400mL <たん白アミノ酸製剤>

キャップ開栓～栄養セット接続時バッグ内に空気が流入すると、液面が下がり、裏面目盛に
内容量が正確に反映されない場合があります。

(400mL 全満量時)

空気流入がない場合



空気流入がある場合



目盛りは空気が流入しない状態での設定のため
このようなずれが生じますが、内容量 400mL
および充填窒素量は従来より変更ありません。

<バッグ内での空気の流入を防ぐには>

キャップ開栓～栄養セット接続時、バッグを平らな面に置き、バッグの接続口部分を折り曲げて操作してください。



★新規常備医薬品 HF追補版

平成24年5月30日

1. 新規常備依頼医薬品 (合計15品目)

★平成24年6月19日(火)よりオーダ開始

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
イクサレルト 333	錠	10mg 15mg	372.4 530.4	ハイエル	Rivaroxaban 選択的 direct 作用型第Xa因子阻害剤 ★「非弁膜症性心房細動における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制」の適応を有する、世界初の1日1回1錠の経口第Xa因子阻害剤 ★日本人で安全性においてWFと非劣性 ★日本人に適した用量設定 【発売:2012.4.18】
イムセラ 399	Cap	0.5mg	7,922.30	田辺三菱	Fingolimod Hydrochloride 多発性硬化症(MS)治療剤 ★S1P ₁ 受容体に作用し、リンパ節等の二次リンパ組織からのリンパ球の移出を抑制することで免疫調節作用を発揮する新規の作用機序 ★1日1回の経口投与でMSの再発予防及び身体的障害の進行抑制 ★インターフェロンβ-1a(アホネックス)による治療に対して、有意な年間再発率40%の軽減 【発売:2011.11.28.】
エルカルチン 399	錠	300mg	293.7	大塚製薬	Levocarnitine Chloride レボカルニチン製剤 ★薬剤投与(パルプ酸ナトリウムなど)による二次性カルニチン欠乏症へのL-カルニチン補充可能 【発売:1990.6.1.】
オパガン 131	眼粘弾剤	1%0.6mL /本	7,714.1	参天	Sodium Hyaluronate 眼科手術補助剤 ★超音波乳化吸引時、角膜内皮を保護 ★眼内から速やかに消失し(ウサギ)、眼圧への影響が少ない(半減期1.4hr) ★ブレイフト・シリング製剤→調製・手技簡便 【発売:1999.7.21.】
オンプレス吸入用 225	Cap	150μg	139.6	ノバルティス	Indacaterol maleate 長時間作用性吸入気管支拡張剤 ★1日1回投与で、呼吸機能(FEV1)改善効果が24時間持続→アドヒアランス向上期待 ★投与後5分から呼吸機能(FEV1)が改善 ★COPD患者の「QOL(SGRQスコア)」及び「息切れ(TDIスコア)」を改善 【発売:2011.9.20.】
シュアホスト 396	錠	0.5mg	57.8	大日本住友	Repaglinide 速効型インスリン分泌促進剤 ★スターシスと比較しHbA1cを有意に低下、食後高血糖を抑制 ★European heart journal(EHJ)にてメホルミンと同程度に心血管イベント発症リスクが低い ★胆汁排泄型 ★α-グルコシダーゼ阻害剤との併用可能 【発売:2011.5.16.】
テリホン皮下注用 243	注	56.5μg	12,971.0	旭化成ファーマ	Teriparatide Acetate 骨粗鬆症治療剤 ★新規椎体骨折の相対リスク減少率は(対プラセボ、72週後)78.6%で早期に効果発現(24週後:53.9%、49週以降:新規椎体骨折なし) ★週1回皮下投与の骨形成促進剤 ★自己注射困難な高齢者に対しても投与可能 【発売:2011.11.25.】
フォルテオ皮下注キット 243	注	600μg	51,871.0	イーライリリー	Teriparatide (Genetical Recombination) 骨粗鬆症治療剤 ★既存のビスホスホネート製剤に比較し、倍近くの骨塩増加量→高い新規椎体骨折予防効果 ★1日1回皮下投与の骨形成促進剤 ★骨微細構造を再構築する作用 ★自己注射可能 【発売:2010.10.1】

プロイメント [®] 点滴静注用 239	注	150mg	14,297.0	小野	Fosaprepitant Meglumine 選択的NK ₁ 受容体拮抗型制吐剤 ★)非ペプチド性の選択的サブスタンスP/ニューロキニン1(NK ₁)受容体拮抗型制吐剤アプレピタントの水溶性を向上させたリン酸化プロドラッグ注射剤 →経口投与困難患者に投与可能 ★1日1回点滴で内服薬(イメント [®] Cap)3日内服と同等の効果 【発売:2011.12.9.】
ホストイン静注 113	注	750mg	6,184.0	エーザイ	Fosphenytoin Sodium Hydrate 抗けいれん剤 ★フェニトインの水溶性プロドラッグpH:8.5~9.1、浸透圧比:約1.9(フェニトイン:pH:約12、浸透圧比:約29)→組織傷害性の回避可能 ★生理食塩液、5%Tzに希釈可能 【発売:2012.1.17.】
ミラベックスLA 116	錠	0.375mg 1.5mg	151.2 518.9	ペーリンガーイン ゲルハイム	Pramipexole Hydrochloride Hydrate ドパミン作動性パーキンソン病治療徐放性製剤 ★1日1回投与可能→患者の利便性・アドヒアランス向上 ★ピロシフロール錠(速放錠)から同一1日量で翌日から切り替え可能 【発売:2011.7.20.】
ランマーク皮下注 399	注	120mg	45,155.0	第一三共	Denosumab(Genetical Recombination) ヒト型抗RANKLモノクローナル抗体製剤 ★骨転移を有する乳癌、前立腺癌、その他固形癌及び多発性骨髄腫の患者において、従来薬(ゾメタ)と比較して有意な骨関連事象発現抑制効果 ★骨吸収に必須のメディエーターであるRANKLを特異的に阻害する分子標的薬 ★4週間に1回の皮下投与製剤 ★腎機能障害患者に用量調節不要 【発売:2012.4.17.】
リパクレオン 233	Cap	150mg	31.6	エーザイ	Pancrelipase 膵消化酵素補充剤 ★健康な膵臓から得られた膵消化酵素製剤で、特にリパーゼ活性を高めたものであり、本邦で初めて膵外分泌機能不全に対する有効性及び安全性が検証された薬剤 ★膵外分泌機能不全患者が食物を効率よく消化できるように工夫された製剤 ★腸溶性剤 ★日局バンクレアチンと比較した単位重量当たりの力価として、製剤ではリパーゼで約8.4倍、プロテアーゼで約7.0倍及びアミラーゼで約6.5倍の力価 【発売:2011.8.30.】

2. 剤形・規格追加医薬品 (合計4品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
コデインリン酸塩散10%「タケダ」 811	散	100mg/g	144.5/g	武田	Codeine Phosphate Hydrate 麻薬性鎮痛剤 ★院内における煩雑な調製作業が不要な利便性の高い製剤 【発売:1962】
生食注シリンジ「オーツカ」 331	注	10mL	118/本	大塚製薬	Isotonic Sodium Chloride Solution ★プレフィルドシリンジ製剤で調製・手技簡便 ★清潔に操作可能 ★造影剤検査時に医師数不足のため、ルート通過確認をNsが行うために必要 【発売:2008.1.28.】
フィンハックス点滴静注用 613	注	0.5g	1,611.0	塩野義	Doripenem Hydrate カルバペネム系抗生物質 ★難治性感染症に対し、「1回0.5g1日3回または1回1g1日3回」処方時の利便性高い ★1回1g1日3回処方時 0.25gバイアル:13,644(12V) 0.5gバイアル:9,702(6V) と3,942円経済的 【発売:2011.11.29.】
ブレオ注射用 423	注	15mg	5,496.0	日本化薬	Bleomycin Hydrochloride 抗腫瘍性抗生物質 ★ブレオ注射用30mgが販売中止のため 【発売:1969.2.5】

3. 切り替え医薬品（合計4品目）

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
タコシル組織接着シート 799	外用	4.8cmX 4.8cm (ハーフサイ ス)	31,805.1	CSLヘルリンク	Human fibrinogen、Human thrombin シート状生物学的組織接着・閉鎖剤 ★先行品(タコシル)から牛由来成分を除いた製剤 →BSE等の感染症リスクやアレルギー発現を理論上回避可能 ★先行品(タコシル)と同薬価 ★先行品(タコシル)と同等の有効性・安全性 【発売:2012.1.17.】
ミオテクター冠血管注 799	注	A液: 495mL B液:5mL	2,119.0	持田製薬	心臓外科手術用心停止及び心筋保護液 ★心停止及び心筋保護液として、世界で広く臨床使用されている国内初の製剤 ★院内における煩雑な調製作業が不要な利便性の高い製剤 【発売:1999.12.7.】
メインテート 212	錠	0.625mg 2.5mg	26.6 80.7	田辺三菱	Bisoprolol Fumarate 選択的β ₁ アンタゴニスト ★低用量から開始する慢性心不全に対しても対応可能 ★高いβ ₁ 選択性 ★肝・腎2ルートでバランスよく排泄 ★1日1回投与 【発売:2.5mg:1990.11.27、0.625mg:2011.06.03】

4. 新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品（合計7品目）

商品名	剤形	規格	削除理由
スターシス	錠	30mg	シユアポスト錠0.5mg採用の場合、削除
ニコチネルTTS	貼付	10 20 30	オンプレス吸入用Cap採用の場合、削除
フィニバックス点滴静注用	注	0.25g	フィニバックス点滴静注用0.5g採用の場合、削除
フルメロン0.02%	点眼	5mL	オヘガン0.6眼粘弾剤1%採用の場合、削除
メインテート	錠	5mg	メインテート錠2.5mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、削除します。あるいは、特定の診療科で問題のある場合、「診療科限定」に登録します。(注:「診療科限定」は原則、在庫しない医薬品です。)

5. 削除医薬品（合計10品目）

商品名	剤形	規格	削除理由
アンベック	坐剤	20mg	アンベック坐剤10mg採用のため、削除
(院)コデインリン酸塩散 10%	散	—	コデインリン酸塩散「タケタ」採用の場合、削除
エリスロシン点滴静注用	注	500mg	ジスロマック点滴静注用500mg採用のため、削除
カリメート散	散	5g/包	ケイキサレートドライシロップ76%採用のため、削除
ザシテントライシロップ0.1%	D.S.	0.10%	アレロック顆粒0.5%採用のため、削除
(院)心停止液	注	—	ミオテクター冠血管注のため、削除
タコシル組織接着シート	外用	4.8cmX4.8cm	販売中止のため、削除
(院)ヘパリン加生食	注	500mL	ヘパフラッシュ100単位/mLシリンジ10mL採用のため、削除
プレオ注射用	注	30mg	販売中止のため、削除
レスキュラ点眼液0.12%	点眼	5mL	デュオトラハ配合点眼液2.5mL採用のため、削除

6. 削除消毒薬（合計5品目）

薬品名	剤形	規格	薬効	代替薬
イソジンスクラブ液7.5%	外用液	500mL	外用消毒剤	ポピドンヨードスクラブ液7.5%
イソプロピルアルコール	外用液	500mL	外用消毒剤	消毒用エタプロコール「マルイシ」
ステリコットα	外用剤	60包/箱	外用消毒剤	ワンショットプラス
ヒビテングルコネート液20%	外用液	500mL	外用消毒剤	ステリクロンW0.05%500mL
ヒビスクラブ4%	外用液	500mL	外用消毒剤	マイクロシールドスクラブ4%

p175

生理食塩液 Isotonic NaCl Sol.

★生食注シリンジ「オーツカ」 Normal saline syringe

	大塚
	薬価
コード	118

シリンジ:10mL

【効】注射:細胞外液・ナトリウム・クロール欠乏時、溶解希釈剤 外用:皮膚・創傷面・粘膜の洗浄・湿布含そう・噴霧吸入剤として気管支粘膜洗浄・喀痰排出促進 その他:医療用器具の洗浄

【用】注射:(1)20~1000mL を皮下、静注又は点滴静注適宜増減(2) 適量を取り、注射用医薬品の希釈、溶解 外用:(1) 皮膚、創傷面、粘膜の洗浄、湿布(2) 含そう、噴霧吸入 その他:医療用器具の洗浄

【備考】CT 室限定

p4

カルバペネム系

ドリペネム水和物 doripenem hydrate

★フィニボックス Finibax 塩野義

	コード	薬価
点滴用:0.5g/V	[フィニ 62]	1,611

【用】1回 0.25g を1日 2~3回、30 以上かけて点滴静注 (適宜増減) 重症・難治性感染症:1回 0.5g を1日 3回 1回量 1.0g、1日量 3.0g まで投与可

【禁】本剤成分ショック バルプロ酸ナトリウム

【原禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状 偽膜性大腸炎 肝機能障害 黄疸 急性腎不全 無顆粒球症 白血球減少 ショック 汎血球減少症 血小板減少 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis: TEN) 間質性肺炎

【備考】緑膿菌に対して強い抗菌力 ヒト腎テロペプチダーゼ I (DHP- I) に対して安定

抗腫瘍性抗生物質

ブレオマイシン塩酸塩 bleomycin hydrochloride

★ブレオ Bleo

日本化薬

コード	薬価
[ブレオ]	5,496

注射用〔劇〕:15mg/V

【効】皮膚癌 頭頸部癌(上顎癌,舌癌,口唇癌,咽頭癌,喉頭癌,口腔癌等) 肺癌(特に原発性及び転移性扁平上皮癌) 食道癌 悪性リンパ腫 子宮頸癌 神経膠腫 甲状腺癌 胚細胞腫瘍(精巣腫瘍、卵巣腫瘍、性腺外腫瘍)

【用】(1)15~30 mgを約5~20 mLに溶解し,緩徐に静注 発熱の著しい場合は1回量を5 mg又はそれ以下 (2)15~30mgを約5 mLに溶解し,筋注又は皮下注 患部の周辺に皮下注する場合は1 mg/mL以下の濃度とする (3)5~15 mgをワンショット又は連続的に動注 1週2回を原則とし,症状に応じて1日1回(連日)ないし1週1回に適宜増減 (総投与量)腫瘍の消失を目標とし,300 mg以下 ただし、胚細胞腫瘍に対する他の抗癌剤との併用療法にあっては360mg以下 <小児>胚細胞腫瘍、悪性リンパ腫:1回10~20mg/m²を1~4週間毎に静注 ただし、1回量として成人の最大用量(30mg)を超えないこと

【警】間質性肺炎・肺線維症等の重篤な肺症状を呈することがある 投与中及び投与終了後の一定期間(およそ2カ月位)は患者を医師の監督下におく 特に60歳以上の高齢者及び肺に基礎疾患を持つ患者への投与に際しては、使用上の注意に十分留意 労作性呼吸困難、発熱、咳、捻髪音(ラ音)、胸部レントゲン異常陰影、A-aDo₂・Pao₂・Dlcoの異常などの初期症状があらわれた場合は直ちに投与中止し、適切な処置 緊急時に十分対応できる医療施設において、癌化学療法に十分な経験をもつ医師のもとで、適切な症例にのみ投与 各併用薬剤の添付文書を参照し、適応患者の選択に十分注意

【禁】重篤な肺機能障害 胸部レントゲン写真上びまん性の線維化病変及び著明な病変を呈する患者 本剤成分及び類似化合物(ペプロマイシン)過敏症 重篤な腎機能障害 重篤な心疾患 胸部及びその周辺部への放射線照射

【重大な副作用】間質性肺炎 肺線維症 ショック 出血

【備考】ブレオマイシン類

副甲状腺ホルモン剤

酢酸塩テリパラチド Teriparatide Acetate

★テリボン Teribone

旭化成

コード

薬価

皮下注用:56.5 μ g/V

12,971

【効】骨折の危険性の高い骨粗鬆症

【用】56.5 μ g を1週間に1回皮下注 投与は72週間まで

【禁】次に掲げる骨肉腫発生リスクが高いと考えられる患者 (1) 骨ペーজেット病 (2) 原因不明のアルカリフォスファターゼ高値 (3) 小児等及び若年者で骨端線が閉じていない (4) 過去に骨への影響が考えられる放射線治療 高Ca血症 原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍 骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患 本剤成分又は他のテリパラチド製剤に対し過敏症 妊婦又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状

【備考】1バイアル中テリパラチドとして63.3 μ g含有

副甲状腺ホルモン剤

テリパラチド(遺伝子組換え)

Teriparatide (Genetical Recombination)

★フォルテオ Forteo

イーライリリー

コード

薬価

皮下注キット:600 μ g/本

51,871

【効】骨折の危険性の高い骨粗鬆症

【用】1日1回20 μ g皮下注 投与は24ヵ月間まで

【禁】高Ca血症 次に掲げる骨肉腫発生リスクが高いと考えられる患者 (1) 骨ペーজেット病 (2) 原因不明のアルカリフォスファターゼ高値 (3) 小児等及び若年者で骨端線が閉じていない患者 (4) 過去に骨への影響が考えられる放射線治療 原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍 骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患 妊婦又はその可能性のある婦人 授乳婦 本剤成分又はテリパラチド酢酸塩過敏症

糖尿病治療剤 経口血糖降下剤

レパグリニド Repaglinide

★シュアポスト SUREPOST

	大日本住友
コード	薬価
	57.8

錠:0.5mg

【効】2 型糖尿病における食後血糖推移の改善(ただし、食事療法・運動療法あるいは食事療法・運動療法に加えて α -グルコシダーゼ阻害剤を使用している患者で十分な効果が得られない場合に限る)

【用】1 回 0.25mg より開始、1 日 3 回毎食直前に分服
維持用量は 1 回 0.25~0.5mg (適宜増減) 1 回量 1mg まで増量可

【禁】重症ケトーシス 糖尿病性昏睡又は前昏睡 1型糖尿病 重症感染症 手術前後 重篤な外傷 妊婦 又はその可能性のある婦人 本剤成分過敏症

【重大な副作用】低血糖 肝機能障害 心筋梗塞

血液製剤 フィブリノゲン製剤

フィブリノゲン配合剤 fibrinogen combined drug

★タコシール TachoSil

	CSL ベーリング
コード	薬価
	31,805.1

組織接着用シート:4.8cm×4.8cm(ハーフサイズ)

【効】肝臓外科,肺外科,心臓血管外科,産婦人科及び泌尿器外科領域における手術時の組織の接着・閉鎖(ただし,縫合あるいは接合した組織から血液,体液又は体内ガスの漏出をきたし,他に適切な処置法のない場合に限る)

【用】乾燥状態あるいは生理食塩液でわずかに濡らし、その活性成分固着面を接着・閉鎖部位に貼付し、3~5 分間圧迫

【禁】本剤成分又はウマ血液を原料とする製剤(乾燥まむしウマ抗毒素等)に対し過敏症 凝固促進剤(臓器抽出製剤,蛇毒製剤) 抗線溶剤 アプロチニン製剤

【重大な副作用】ショック

【備考】シート状生理的組織接着・閉鎖剤

抗凝血剤

リバーロキサバン Rivaroxaban

★イグザレルト Xarelto

	バイエル
コード	薬価
錠:10mg	372.4
錠:15mg	530.4

【効】非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制

【用】1日1回15mg食後 腎障害1日1回10mgに減量

【警】出血発現、重篤な出血の場合には、死亡に至るおそれあり 使用にあたっては、出血の危険性を考慮、投与の適否を慎重に判断 出血リスクを正確に評価できる指標は確立されておらず、抗凝固作用を中和する薬剤はないため、本剤投与中は、血液凝固に関する検査値のみならず、出血や貧血等の徴候を十分に観察 これらの徴候が認められた場合には、直ちに適切な処置

【禁】本剤成分過敏症 出血 凝固障害を伴う肝疾患 中等度以上の肝障害 (Child-Pugh 分類 B 又は C に相当) 腎不全 (クレアチニンクリアランス 15mL/min 未満) 妊婦又はその可能性のある女性 HIV プロ

テアーゼ阻害剤 (リトナビル, アタザナビル, インジナビル等) アゾール系抗真菌剤 (フルコナゾールを除く. イトラコナゾール, ポリコナゾール, ケトコナゾール等) の経口又は注射剤 急性細菌性心内膜炎

【重大な副作用】出血 肝機能障害・黄疸

抗てんかん剤

ホスフェニトインナトリウム水和物 Fosphenytoin Sodium Hydrate

★ホストイン Fostoin

エーザイ
薬価

コード

6,299

〔劇〕静注:750mg

【効】(1)てんかん重積状態 (2)脳外科手術又は意識障害(頭部外傷等)時のてんかん発作の発現抑制 (3)フェニトインを経口投与しているてんかん患者における一時的な代替療法

【用】(1)初回投与 22.5mg/kg を静注 投与速度は 3mg/kg/分又は 150mg/分のいずれか低い方を超えないこと 維持投与 5~7.5mg/kg/日を1回又は分割にて静注 投与速度は 1mg/kg/分又は 75mg/分のいずれか低い方を超えないこと

(2)初回投与 15~18mg/kg を静注 維持投与 5~7.5mg/kg/日を1回又は分割にて静注 (3)経口フェニトインの1日投与量の1.5倍量を、1日1回又は分割にて静注 (2)(3)投与速度は 1mg/kg/分又は 75mg/分のいずれか低い方を超えないこと

【禁】本剤成分又はヒダントイン系化合物過敏症 洞性徐脈、高度の刺激伝導障害 タダラフィル(アドシ

ルカ)

【重大な副作用】中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN) 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) 過敏症症候群 SLE 様症状 再生不良性貧血 汎血球減少 無顆粒球症 単球性白血病 血小板減少 溶血性貧血 赤芽球癆 劇症肝炎 肝機能障害 黄疸 間質性肺炎 心停止 心室細動 呼吸停止 強直発作 悪性リンパ腫 リンパ節腫脹 小脳萎縮 横紋筋融解症 急性腎不全 間質性腎炎 悪性症候群

p216 抗パーキンソン剤 トロパミン受容体刺激薬

塩酸塩 プラミペキソール水和物 Pramipexole

Hydrochloride Hydrate

★ミラペックス LA Mirapex-LA ベーリンガーインゲルハイム
コード 薬価

[劇]LA錠:0.375mg 151.2

[劇]LA錠:1.5mg 518.9

【効】パーキンソン病

【用】1日量 0.375mg 1日1回食後から開始、2週目に1日量を0.75mg、以後経過を観察しながら、1週間毎に1日量として0.75mgずつ増量し、維持量(標準1日量1.5~4.5mg 1日1回食後)(適宜増減)1日量は4.5mgを超えないこと

【警】前兆のない突発的睡眠及び傾眠等がみられることあり 突発的睡眠等により自動車事故を起こした例が報告あり、患者に突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、服用中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないよう注意すること

【禁】妊婦又はその可能性のある婦人 透析患者を含む高度な腎機能障害 本剤成分過敏症

【重大な副作用】突発的睡眠 幻覚 妄想 せん妄 錯乱 激越 悪性症候群

p441

あへんアルカロイド系麻薬

リン酸コデイン codeine phosphate

★リン酸コデイン Codeine phosphate 武田
コード 薬価

10%散[麻][劇]: 144.5

【効】各種呼吸器疾患における鎮咳・鎮静 疼痛時における鎮痛 激しい下痢症状の改善

【用】1回 20 mg, 1日 60 mg (適宜増減)

【禁】重篤な呼吸抑制 気管支喘息発作中 重篤な肝障害 慢性肺疾患に続発する心不全 けいれん状態 急性アルコール中毒 アヘンアルカロイド過敏症 出血性大腸炎

【原禁】細菌性下痢

【重大な副作用】薬物依存 退薬症候 呼吸抑制 せん妄 錯乱 無気肺 気管支けいれん 喉頭浮腫 麻痺性イレウス 中毒性巨大結腸

【備考】鎮痛作用:モルヒネ由来 鎮咳作用:コデイン特異的

β - 遮断薬

ビソプロロール fumarate 塩 bisoprolol fumarate

★メインテート Maintate 田辺三菱

	コード	薬価
錠:2.5mg	[メイン 02]	70.6
錠:0.625mg	[メイン 03]	23.3

【効】(1)本態性高血圧症(軽症～中等症) 狭心症 心室性期外収縮 (2)虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全(アンジオテンシン変換酵素阻害薬又はアンジオテンシン II 受容体拮抗薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者)

【用】(1)1日1回5mg (適宜増減) (2)1日1回0.625mg から開始 2週間以上投与し忍容性がある場合、1日1回1.25mg に増量 4週間以上の間隔で段階的に増量、忍容性がない場合は減量 維持量 1.25～5mg(適宜増減) 開始用量、増量幅適宜減 最高1日5mg

【警】慢性心不全患者に使用する場合、治療経験十分な医師のもとで使用 投与初期及び増量時に症状が悪化することに注意し慎重に用量調節

【禁】高度の徐脈(著しい洞性徐脈) 房室ブロック(II,III

度) 洞房ブロック 洞不全症候群 糖尿病性ケトアシドーシス 代謝性アシドーシス 心原性ショック 肺高血圧による右心不全 妊娠又はその可能性のある婦人 強心薬又は血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者 非代償性の心不全 重度末梢循環障害 未治療褐色細胞腫 本剤成分過敏症

【重大な副作用】心不全 完全房室ブロック 高度徐脈 洞不全症候群

【備考】β1 選択性 ISA(-)

p306

鎮咳・喘息治療剤 β 刺激気管支拡張剤

マレイン酸塩インダカテロール Indacaterol Maleate

★オンブレス Onbrez

ノバルティス

コード 薬価

吸入用 Cap:150 μ g

139.6

【効】慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎、肺気腫)の

気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解

【用】1回 150 μ g を 1日 1回吸入

【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】重篤な血清 K 値の低下

p357

眼科用内用・注射用剤

精製ヒアルロン酸ナトリウム Purified Sodium Hyaluronate

★オペガン OPEGAN

参天

コード 薬価

0.6 眼粘弾剤 1%:0.6mL/筒

6,797.3

【効】白内障手術・眼内レンズ挿入術・全層角膜移植術における手術補助

【用】白内障手術:0.1~0.6mL を前房内へ注入 眼内レンズ挿入術:0.1~0.5mL を前房内へ注入 眼内レンズのコーティングに約 0.1mL 使用

全層角膜移植術:移植眼の角膜片を除去後に、0.1~0.5mL 前房内注入、移植片角膜を浮遊させて縫合提供眼の移植片角膜のコーティングに約 0.1mL 使用

【原禁】本剤成分又は蛋白系薬剤過敏症

p145

その他の代謝性医薬品

デノスマブ(遺伝子組換え) Denosumab(Genetical Recombination)

★ランマーク RANMARK

第一三共
コード 薬価

[劇]皮下注:120mg/1.7mL

45,155

【効】多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変

【用】120mgを4週間に1回皮下注

【禁】本剤成分過敏症 妊婦又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】顎骨壊死・顎骨骨髄炎 重篤な皮膚感染症

p352

制吐剤 その他の制吐剤

ホスアプレピタントメグルミン Fosaprepitant Meglumine

★プロイメンド PROEMEND

小野
コード 薬価

点滴静注:150mg

14,297

【効】抗悪性腫瘍剤(シスプラチン等)投与に伴う消化器症状(悪心、嘔吐)(遅発期を含む)

【用】他の制吐剤との併用において、150mgを抗悪性腫瘍剤投与1日目に1回、点滴静注

【禁】本剤成分又はアプレピタント過敏症 ピモジド

【重大な副作用】皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)穿孔性十二指腸潰瘍 アナフィラキシー反応

多発性硬化症用薬

塩酸塩フィンゴリモド Fingolimod Hydrochloride

★イムセラ Imusera

田辺三菱

コード 薬価

Cap〔劇〕:0.5mg

8,172

【効】多発性硬化症の再発予防及び身体的障害の進行抑制

【用】1日1回0.5mg

【警】緊急時に十分対応できる医療施設において、安全性及び有効性についての十分な知識と多発性硬化症の治療経験をもつ医師のもとで、適切と判断される症例についてのみ実施 黄斑浮腫等の重篤な眼疾患が発現することがあるので、十分に対応できる眼科医と連携がとれる場合にのみ使用 投与開始後、数日間にわたり心拍数の低下作用がみられる。特に投与初期は大きく心拍数が低下することがあるので、循環器を専門とする医師と連携するなど、適切な処置が行える管理下で投与開始 重篤な感染症があらわれ、死亡に至る例の報告あり 関連性は明らかではないが、Epstein-Barr ウィルスに関連した悪性リンパ腫、リンパ増殖性疾患発現の報告あり 重篤な副作用により、致命的な経過

をたどることがあるので、有益性投与

【禁】本剤成分過敏症 重篤な感染症 クラス Ia(キニジン, プロカインアミド等)又はクラス III(アミオダロン, ソタロール等)抗不整脈剤 妊婦又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】感染症 徐脈性不整脈 黄斑浮腫 悪性リンパ腫 可逆性後白質脳症症候群 虚血性及び出血性脳卒中 末梢動脈閉塞性疾患

【備考】初回投与後 6 時間はバイタルサインの観察, 初回投与前及び初回投与 6 時間後に 12 誘導心電図を測定

心停止・心筋保護剤

心臓外科手術用心停止及び心筋保護液

★ミオテクター Miotecter

持田製薬
コード 薬価

冠血管注:A液 495mL、B液 5mL

2,119

【効】低体温体外循環下、大動脈を遮断し実施される心臓外科手術における、心停止及び心筋保護

【用】用時A液にB液を全量添加し、十分混合して使用 4℃前後に冷却し、人工心肺装置を用い、患者を体外循環下に置き、体外循環灌流温を予定の低温にした後、上行大動脈を遮断し、直ちに、10～20mL/kg を、順行性冠灌流にて注入する場合は 2～4 分かけて冠状動脈(大動脈基部)に、逆行性冠灌流にて注入する場合は 4～7 分かけて冠状静脈(冠状静脈洞)に注入 心停止が得られない場合は、心停止が得られるまで適宜増量 同時に、心嚢内に4℃前後に冷却した局所冷却液(生理食塩液、リンゲル液、乳酸リンゲル液等)を持続的若しくは定期的に注入し、あるいはアイススラッシュを用いて、心臓の局所冷却を維持 以後、20～30 分ごとに、初回注入量の半量を目安に心停止が維持できるよう追加注入 途中で心機能が回復した場合、若しくは

心筋温が 15～20℃以上に上昇した場合は、速やかに心停止が得られるまで追加注入 注入に当たっては、順行性冠灌流を基本とし、順行性冠灌流のみでは心筋に十分行き渡らない可能性がある場合、逆行性冠灌流の併用あるいは逆行性冠灌流を行う注入に際しては、注入圧をモニターし、過度の注入圧を回避すべく注意

【重大な副作用】心筋梗塞、低心拍出量症候群 心室細動、心室頻拍、心室性期外収縮、完全房室ブロック 高K血症

p316

消化酵素剤

パンクレリパーゼ Pancrelipase

★リパクレオン LipaCreon

エーザイ
コード 薬価

Cap:150mg

31.6

【効】膵外分泌機能不全における膵消化酵素の補充

【用】1回 600mg を 1日 3回, 食直後 適宜増減.

【禁】本剤成分過敏症 ブタ蛋白質過敏症

p160

レボカルニチン塩化物 Levocarnitine Chloride

★エルカルチン L-Cartin

コード

大塚
薬価

錠:300mg

293.7

【効】カルニチン欠乏症

【用】1日 1.8~3.6g を 3回に分服 小児:1日 30~
120mg/kg を 3回に分服(適宜増減)

【禁】本剤成分過敏症